



## 一般介護予防サポーター「仲良しサポーター」が誕生！

仲良しサポーター



阿蘇市介護予防サポーター

広報あそ4月号で公募いたしました「介護予防サポーター養成講座」を5月14日より4回コースで開催しました。本年度は、昨年受講した17名と本年度新規受講者の13名が養成講座を受講し、合計30名が一般介護予防サポーターとして誕生しました。

この養成講座では、阿蘇市の介護保険の現状や、元気な体を保つためのストレッチ体操・筋力トレーニングの実施方法や、血圧・握力測定など体力測定の方法を学びました。一般介護予防サポーターの名称も“仲良しサポーター”と命名し、今後は、体力アップ教室・健康はつらつ講座等の介護予防事業で活躍する予定です。

昨年、介護予防サポーターとして活躍した方の感想には、「介護予防事業に参加された高齢者が、元気になっていく姿を見て感動した」「人のためにと始めて始めたが、自分自身のためにもなった」などという声が聞かれ、サポーター自身の健康づくりにも役立っているようです。“仲良しサポーター”の活躍をご期待ください！



## 地域ブランドづくりに向け 国関係者と意見交換



# 地産地消

## 「安心・安全の美味しいものには 全国からリピーター集まる！」



商工会は、地域ブランドを目指し取り組んでいる「あそんだご汁街道」についてのミーティングを6月13日、国の関係者9名を迎え行いました。これは、商工会が今年度、小規模事業者の新事業全国展開を支援する事業（通称：地域資源∞全国展開プロジェクト）を受択したことで、会員の認識を深めように行ったもので、経済産業大臣政務官松村祥史氏はじめ経済産業省九州産業局長橋高公久氏などから、今回の支援事業について、また国内の観光開発の現状や発展へのアドバイスが話され、最後の意見交換も会員の意欲に大いにつながりました。

商工会では、「あそんだご汁街道」のブランド化に向けさらなる取り組みを展開します。



阿蘇市内で酒店を営む村上和明さんが毎年行う「国酒を楽しむ会」で、今年は酒に合う「食」に阿蘇市の特産品を食べてもらい地産地消を促しました。

この会は、今年で16回を数え、今回も県内外から258人が参加。村上さんは挨拶で「阿蘇市にはこんな美味しい野菜や果物、豆腐、肉があります」と紹介。味に納得した参加者から「もっとPRすべき」「どこで買えるの？」などと盛んに意見が出ました。

この企画に対し村上さんは「今日私がしたことは『口コミ』です。土壌からこだわった美味しい野菜や果物が地元にある。この事実を多くの人に伝えただけ。しかし今日一日の反響だけでもものすごい。安心・安全のよいものを作り、一人一人の生産者が儲かる。自分が潤って地域が潤い出すのです」と話されました。